

地元青年代表



熊谷俊さん



小林翔太さん



鈴木亜佳莉さん

この日「わかち愛もせうしひろば 暮れサロン」には、空知総合振興局の若手職員によるものです。

「空知を知って地域の未来を考える」をテーマに、様々な手法を展開している「ソラシル未来授業」。その一環として、このほど『わかち愛もせうしひろば』で開催された「夜のオアシス 空トピア」では、空知総合振興局の若手職員と妹背牛町の青年たちとの熱いトークが交わされました。



空知総合振興局



山崎主事



東城主事

この企画は、空知総合振興局の若手職員が、地域で暮らす人々に直接会い、その魅力をホームページで全国に発信していくものです。

まちの若者と、ホンネで語り合う
夜のオアシス 空トピア
in モセウシ

職員2名、町内で働く3名の若者たちが集まってきました。まずは、それぞれの出身地や職業などの自己紹介からスタート。やがて、和やかなムードの中で緊張もほぐれてくると、普段の暮らしぶりやこのまちについて思っていること、将来の夢などが次々と飛び出してきました。IT化の進展でネットを介したコミュニケーションに偏りがちな現代の若者たちですが、この日はやはり、直接対話の「ホンネ」トークで大いに盛りあげられました。

まずは、それぞれの出身地や職業などの自己紹介からスタート。やがて、和やかなムードの中で緊張もほぐれてくると、普段の暮らしぶりやこのまちについて思っていること、将来の夢などが次々と飛び出してきました。IT化の進展でネットを介したコミュニケーションに偏りがちな現代の若者たちですが、この日はやはり、直接対話の「ホンネ」トークで大いに盛りあげられました。

この日は、わかち愛もせうしひろば 暮れサロン」には、空知総合振興局の若手職員によるものです。

取材した妹背牛町編は4月16日から掲載されています。



「夜のオアシス空トピア」はここで見られます。
<http://sorachi-de-view.com/moseushi/soratopia3>

取材スタッフは、この後も空知管内の市町を巡り、同局が運営するホームページ「そらち・デ・ビュー」に順次掲載して行く予定です。



時には真剣な表情で、アツい激論も...

初対面の若者同士ですが、すぐに打ち解け、笑顔がこぼれます。



がんばれファイターズ

妹背牛町から116名の大応援団
ドームに響く熱いエール



昨年秋に発足した、北海道日本ハムファイターズ妹背牛後援会の会員83名と野球少年団のメンバー33名が、2019開幕戦第二戦の応援に駆けつけ、選手達の一挙手一投足に熱いエールを送りました。3月30日、高橋久夫会長はじめ116名の応援団は、大型バス3台に分乗して札幌ドームへ。この日の対戦チームは、オリックス・バファローズ。

第一戦の劇的サヨナラ勝ちに続き第二戦も勝利が期待され、会場は4万人以上の観客で埋め尽くされました。

本町の応援団は、手作りのメッセージカードを掲げ熱烈応援をしましたが、この日はその思いも届かず引き分けとなりました。

妹背牛後援会は、今後も様々な活動を計画しており、この夏には、わかち愛もせうしひろばを会場に、パブリックビューイングも予定しています。

また、同球団では、道内179市町村に応援大使派遣事業を行っています。高橋会長は、妹背牛町にも近い将来ファイターズの選手が訪れ、まちおこしに一役かってくれることを期待し、全町を挙げて応援していこうと呼びかけています。